

八戸高専同窓会 令和2年度 理事会・評議会 議事録

日時 11月7日(土) 14:55～16:17

会場 八戸高専大会議室

議案(1) 令和2年度事業経過報告、同会計経過報告

事務局総務担当の松橋氏から、令和2年度事業経過について資料のとおり報告がされた。
事務局会計担当の川口氏から、令和2年度会計経過について資料のとおり報告がされた。

議案(2) 令和3年度事業計画案

事務局総務担当の松橋氏から、令和3年度事業計画案について資料のとおり提案がされ、審議の結果、提案のとおり承認された。

議案(3) 令和3年度予算案

事務局会計担当の川口氏から、令和3年度予算案について資料のとおり提案がされた。
会長から学生活動支援費については春の理事会・評議会で話したとおり、ロボコン・プロコン以外にも支援すべきではという意見があったため、20万円から50万円に増額している旨の補足がされた。

戸田関東支部長から、ロボコンの支援費が10万円は少ないのではないかという意見が述べられた。会長からは学生活動支援費50万円の中から事務局において適切に運営してほしい旨の依頼がされた。また、会長から事務局運営費として10万円を予算計上しているので、事務局長に一任し、適切に事務局で使用して欲しい旨の依頼があった。

以上を以って、予算案について提案のとおり承認された。

議案(4) 次期（第26回）総会について

会長から、次期（第26回）総会について資料のとおり提案がなされ、審議の結果承認された。

議案(5) 同窓会役員改選について

会長から、役員改選について資料のとおり提案がされた。会長からは、会長・副会長職に長期間就かれている方がいるため、次回総会で交代を検討していたが、コロナ禍により総会そのものが2年延期になったため、それまでは現在の体制としたい旨述べられた。

引き続き総務担当の松橋氏から、役員改選の補足として、理事、評議員等の交代案について説明がされ、本来であれば総会をもって承認されるが、今回は総会代わりの理事会で承認いただきたい旨の提案がされ、審議の結果提案のとおり承認された。

議案(6) 名簿データベースのシステム更新について

瀧本副会長から、名簿データベースのシステム更新について資料のとおり説明がされ、令和3年度予算での300万円の予算計上について審議された。

（審議内容）※敬称略

工藤：データベースの保管先は？オンプレ？クラウド？学校にはサーバは置けない。

瀧本：保管先は検討中です。

戸田：サンライズエーイーの信頼性は大丈夫か？データの悪用の可能性は？

瀧本：現在14年ほど続いている会社であり、業績としては一定の成果を出している。

戸田：この会社のこの先の見通しは？

会長：先のことはどの会社でも同じことが言えると思う。卒業生が関わっている会社の方が責任もってやっていただけると考える。コスト面も吉田システムと比較して頑張っている。

橋場：名簿の管理が心配ならば、一般社団法人化して、法人で名簿を管理するのがいいのでは？多額の財産を持っていることから合理的だと考える。

会長：事務局の労力（住所追跡・会費管理）を減らすことが重要と考えており、資金に余裕があるうちにシステム化を図り管理を楽にしたいと考えている。

佐藤：（評議員になってから日が浅いため）これまでの経緯が分からないので会計の全体が見えない。システムの保守にかかる費用も不明であり、予算全体を見ても今後の見通しが分かりづらい。

会長：保守費用は数十万程度であり、運営には支障がないと考える。今後の見通しなく計画しているわけではない。

佐藤：法人格はないとはいえ、基本財産を残す目的をはっきりしないといけない。

佐藤：システム購入は大きな資産になるので、今後に疑念を持たれないようにしなければならない。（当時の会長のした事だから知らないは通用しない）

会長：ワーキンググループでしっかりと議論して、良いシステムにしたい。

工藤：事務局の人数が減っていることから、いずれ事務局が破綻すると危惧している。解決策もない現状から、負担軽減される方針は歓迎である。

会長：収入が増えれば事務局でアルバイトを雇うなどの方法も取れ、負担軽減になり同窓会がいい方向に向かうのではないかと考える。近年、HPの充実やオンライン決済化などにより終身会費収入が増えたことによって、学生への支援も拡張できるようになってきたと考えている。

佐藤：せっかくシステムを作るのなら、システムからハガキを出せるなど、事務の負担軽減がされるようにシステムを構築することや、システムを維持するための予算を確保されるようにしてほしい。

会長：システムをしっかり維持・継続できるような仕様としたい。

松橋：近年終身会費が多く振り込まれているのは、地道にDMを送っていることが大きいと考えている。これをホームページでの集金のみになると、こうはいかないと思う。効率化は大事であるが、地道な作業も重要だと考える。

以上のやりとりを以て承認された。

議案(7) その他

(7)-1 役員に交代について

会長から、役員に交代について資料のとおり考えが述べられた。

(7)-2 会費等納入者の本人確認方法について

会長から、会費等納入者の本人確認方法について資料のとおり説明がされた。支払の事実を確認できるように、名簿システムを構築していきたい。ただし、時間がかかるため、当面は永年会費や寄附の納入状況をHPに公開してはどうかという提案がなされ、審議の結果了承された。

(7)-3 支部長に対するメールアドレスの提供について

会長から、支部長に対するメールアドレスの提供について資料のとおり説明がされた。ク

レジットカードで会費を支払った場合、自動的にメールアドレスを収集できること。また、会費支払いや寄付に賛同頂いている方は、同窓会の活動に少なからず関心があると思われることから、同窓会活性化のためにメールアドレスを有効利用できるのではないかという提案がされた。

戸田支部長としては、現在は案内先が限定的であるため、メールアドレスを頂けるのであれば是非利用したいとの考えが述べられ、審議の結果、了承された。

その他、定年退職と思われる方のデータ取り扱い、住所調査はがきが返送されること、連絡先が古い場合の本人の追跡手段について、大久保理事から、電話をかけて確認するなどを1件2～300円程度でやってもらえないかという意見が述べられた。

会長からは、クラス連絡委員を有効活用できないかとの意見が述べられた。松橋氏からは連絡委員の活動はクラスによってさまざまではないかとの意見が述べられた。

戸田支部長からは、クラス会補助の際にメールアドレスを収集することを求めると良いのではないかとの意見が述べられたが、工藤事務局長から、現在、そのように運用されているとの回答があった。

会長からはホームページで自ら連絡先が直せるようになれば、口コミでそのことが広まっていくことを期待したいとの意見が述べられた。